



のっとり -nutrir- グーる



のっとりーるプロジェクトは、
多様性のまち浜松で、
「食を通じて、障害の有無や国籍に
関わらず、ヒトとヒトが出会うハシ渡しを」
というテーマで、有志が立ち上げました。
浜松市内にある多国籍料理や福祉団体の運営する
店舗を紹介するマップを作成し、
ハシ袋という形で飲食店にて配布しています。

*「nutrir」はポルトガル語で育むという意味です。

扉を開けば、そこには
美味しいご飯とヒトとの出会いが
待っている!



お店のリストと詳しい記事はこちらから
More details, please check!



①しまうま倶楽部
(SHIMAUMA KURABU)

②ハドラ (HADORA)

③こなこな
(KONAKONA)

④ Las Chillonas

⑤ マタハリカフェ
(MATAHARI KAFE)

⑥いもねこ
(IMONEKO)

この箸袋を持って他のお店にいくと、いいことがあるかも…?!

① カフェ しまうま倶楽部 (SHIMAUMA KURABU)

素材と味にこだわり

Taste of natural ingredients and handmade vessels.

社会福祉法人ひかりの園が、「重度障害のある人が社会とつながるきっかけに」とオープン。利用者と職員の手で丁寧に作られた焼き菓子やパンは、無添加の自然食材にこだわり、種類も豊富。手作り陶器の店「遠州根洗窯」も併設し、個性的な陶器たちが賑やかに並ぶ。

店の一角には喫茶コーナーやキッズスペースもあり、コーヒーを飲みながらくつろげる。やきものまつりやマルシェなどのイベントも定期的に開催。「地域の交流の場所になるよう、いろいろ企画していきたい」



責任者の上甲さん

② ベトナム料理 バインミー&カフェ ハドラ (HADORA)

パンと接客で包まれる幸せ

Happiness wrapped in bread and customer service.

焼きたてのパンを使ったバインミーは全9種類。おすすめは、チャーシューや豚ハム、牛ハムの人気の具が全部入った「ハドラスペシャル」。店員は全員ベトナム人で日本語を勉強中。笑顔あふれる丁寧な接客がうれしい。

日本語を学ぶ留学生にアルバイトを通じて経験を積んでほしいと開業を決意。買い物ついでに気軽に寄れる現在の立地にこだわり、何度も断られながら開店にこぎつけた。エネルギーで、みんなに頼られる存在だ。



店主のランさん

③ お好み焼き こなこな (KONAKONA)

会って絡まる秘伝のソース

Secret sauces that meet and intertwine.

個性的で、温かいスタッフとのやり取りが楽しいお好み焼きさん。障害があってもなくても、生き生きと働ける地域を目指して、NPO法人「あくしす」が2011年にオープンした。浜松のソウルフード、たくあんの入った遠州焼きも味わえる。



店長の堀米さん

最近は飲食店でも接客を重視せずに機械化する店もある中で、「こなこな」は、味だけでなくスタッフの魅力で勝負する。「お客さんとスタッフが名前前で呼び合うようなコミュニティが生まれたら嬉しいです」

④ メキシコ料理 Las Chillonas (ラス チジョーナス)

元レスラーのつくる母の味

Taste of Mother Made by Former Wrestler.

店内にはカラフルなプロレスマスクやソングレロ(帽子)が至る所に飾られ、見てるだけで明るく楽しい気分になれる。創作料理の人気メニュー「チミチャンガ」は、トルティーヤに肉や豆や野菜がこれでもかと包まれ、これ一つでおなか一杯！

プロレスの聖地・メキシコで活躍した元レスラー！巡業で訪れた日本で日系人の夫と出会い結婚。4人の子どもを育てながら、店を切り盛り。お客さんからも「ママ」と慕われる



店主のローサさん

⑤ インドネシア料理 マタハリカフェ (MATAHARI KAFE)

激辛! 妥協なしの本場の味

Super hot! Authentic taste without compromise.

あえて日本人の好みに寄せずに、本場の味にこだわる。近所の日本語学校に通うインドネシア人からも足しげく通い、店内は大賑わい。おすすめは、サンバルと呼ばれる調味料をつけて食べるインドネシア風串焼きのサテ。唇が震える辛さが病みつきになる。



店長のフィトリさん

バリ出身で、20年前に日本人の夫と来日。さまざまな仕事を経験し、前職は介護職で、日本語も堪能だ。「辛い物を食べて、汗を出して、水を飲む。元気になって長生きしますよ！」

⑥ 雑貨カフェ いもねこ (IMONEKO)

ネコに癒され、優しさ伝播

Cats heal and propagate kindness.

店内に入ると、看板ネコのはるちゃんがお出迎え。ネコグッズにあふれた店内では、不登校や発達障害のある若者が、調理から商品の包装デザインまで得意を生かして働く。体に優しい食材を使ったランチやスイーツを楽しみ、癒しのひとときを。



代表の大山さん

可愛らしい店の雰囲気とは裏腹に、ロックな雰囲気を醸す茶髪のバンドマン。元教師で、子どもの居場所作りに奔走する。「動物は人を優しくする力がある。優しい人が集まるお店にしたい」